

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

## 思春期の青少年が“コミュニケーションに学ぶ” ための啓発リーフレットを作成しました。

こども青少年局では、有識者会議である思春期問題連絡会の中で、思春期の多岐にわたる問題の解決の糸口が「コミュニケーション」という人と人が交流を行うことで青少年が自ら回答を見出すことにあるとして、青少年のコミュニケーション不全に関わる問題を検討し、その成果として、青少年がコミュニケーションに学ぶことを促進することを目的とした啓発リーフレットの作成を行いました。

学校、青少年関係団体・施設等へ、本日より配布を行うと共に、あわせてリーフレットデータをホームページに掲載することで、青少年と青少年をとりまく大人に対して広く周知し、啓発を実施します。



### ■ リーフレットの概要

題名：『コミュニケーションに学ぼう』

サイズ：A5サイズ

ページ数：20ページ（表紙・裏表紙こみ）

作成部数：10,000部

内容：思春期の時期は人生の中でさまざまな悩みに満ちた時期であり、「コミュニケーション」を行うことが青少年が自ら回答を見出す一助となること、「コミュニケーション」の大切さについて、ストーリー立てて訴えかける内容となっています。

（また近年大きな課題となっている、インターネット・携帯電話を使用する際の注意しなければいけない点についても、中であわせて触れています）

データ掲載ホームページ

URL：<http://www.city.yokohama.jp/me/kodomo/ikusei/sisyunki/oen.html>

※裏面あり

平成 20 年度横浜市思春期問題連絡会概要

1 設置経緯・目的

平成 17・18 年度の「思春期保健連絡会」において、思春期保健事業等について検討した内容や意見を踏まえ、平成 19 年度から設置された外部有識者の検討会であり、「思春期における人間関係とコミュニケーション」をテーマとした調査・検討を行うとともに、青少年や保護者を対象とした啓発事業を実施することを目的とします。

2 平成 20 年度の内容

- (1) 青少年を取り巻く環境が、思春期の青少年のコミュニケーションに与える影響についての調査・検討
- (2) 青少年や保護者に対する啓発を目的とした出前講座の実施 (51 件実施予定)、リーフレット作成
- (3) 思春期問題解決に向けた新たな取組・支援策の検討

3 委員構成 (12 名)

(敬称略)

	氏 名	所 属
学 識 経 験 者	岩室 紳也	社団法人地域医療振興協会 ヘルスプロモーション研究センター長
	松坂 利之	関東労災病院 臨床心理士
	久田 邦明	神奈川大学講師
研究機 関	宮崎 豊久	財団法人インターネット協会 主任研究員
N P O	滝田 衛	NPO 法人アンガージュマンよこすか 事務局長
	辻 弘枝	NPO 法人 CAP かながわ 副理事長
市 民	坂本 直樹	別所パパの会代表
	荒城 玲子	横浜市 P T A 連絡協議会 書記
	鈴木 由香	港南区少年補導員
	大野 功	横浜市青少年指導員連絡協議会 副会長
行 政	阿部 敏子	神奈川県警察本部少年育成課 少年相談保護センター副所長
	井上 能子	市立中学校長会副会長 (西谷中学校校長)